

**GI** 総説**目次**

概要 .....	GI-2
整備上の注意 .....	GI-2
電気系統の点検 .....	GI-2
SRSエアバッグ車に関する注意 .....	GI-3
車台実施始番号 .....	GI-3
車台番号打刻位置及び実施始番号 .....	GI-3
CONSULT .....	GI-4
機能 .....	GI-4
適用 .....	GI-4

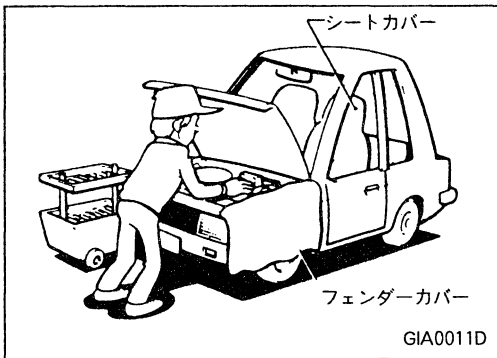
## 概要

本書は従来からの変更内容について記載する。記載なき項目は既刊のスカイラインR33型系車整備要領書を参照のこと。

## 整備上の注意

### 電気系統の点検

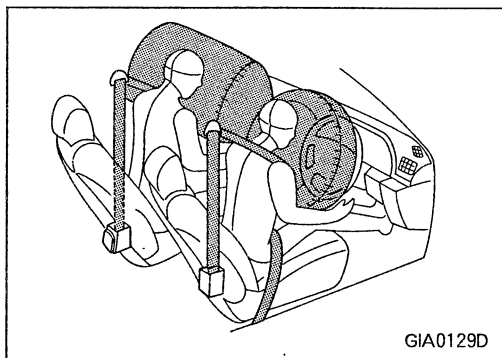
- 故障現象が明らかに電気系統に起因すると推察される場合は、ヒューズ及びヒューズブルリンクの溶断、コネクター付近の断線、端子抜け、かん合不良などを点検し、故障診断を行う。
- ヒューズ及びヒューズブルリンクが溶断した場合は、溶断した原因を調べ修復後、必ず指定容量のヒューズ及びヒューズブルリンクに交換する。



#27

IGN	リアワイパ	ACC	IGN	# 1	IGN	シフトロック	# 14
	アンチスキッド	IGN	IGN	# 2		A/Tコントロール	# 15
	スタータ信号	IGN	ST	# 3		エアコン	# 16
	ルームランプ	IGN	IGN	# 4		エンジンコントロール	# 17
	ストップランプ	IGN	IGN	# 5		エアバッグ	# 18
				# 6			# 19
	電子部品	BAT	BAT	# 7		プロアモード	# 20
	エンジンコントロール	IGN	IGN	# 8		オーディオ	# 22
	ハザードランプ	IGN	IGN	# 9		シガライター	# 23
	フォグランプ	IGN	IGN	# 10		フロントワイパ	# 24
	ターンシグナル	IGN	IGN	# 11		ミラーコントロール	# 25
	メーター	IGN	IGN	# 12		リアデフォッグ	# 26
	電子部品	IGN	IGN	# 13			

GIA0211D



## SRSエアバッグ車に関する注意

- SRSエアバッグを正確かつ安全に整備するための詳しい注意事項を「SRS編の作業上の注意」の項に明記してあるので、整備作業前に必読すること。
- SRSエアバッグに直接関係しない整備作業でもSRSエアバッグの関連で注意を必要とする項目には、各編の目次に“AIRBAG”のマークを付記してあるので、この項目の整備作業を行うときはスカイラインR33型系車整備要領書「SRS編の作業上の注意」の項を参照すること。

- 注意：
- 正しく整備作業が行われなかった場合、SRSエアバッグが不意に作動する恐れがあるので、充分注意すること。
  - SRSエアバッグ回路をチェックするときは、サーキットテスターを使用しないこと。
  - SRSエアバッグではハーネスコネクタの接続忘れ、センサー類取付ボルトの締め忘れは、SRSエアバッグが正常に作動しない恐れがある。修復後に各部の再チェックを行い、システムに異常が無いことを確認すること。
  - SRSエアバッグ関連の全ワイヤーハーネスには、黄色のカバーが巻かれており、他システムのハーネスと区別している。

SRSエアバッグシステムの装着場所は、

- ステアリングホイール
- ステアリングコラム
- フロアコンソール
- インストルメントパネル

上記部位を作業する場合は、SRSエアバッグに影響を及ぼす恐れがあるので、特に注意して作業すること。

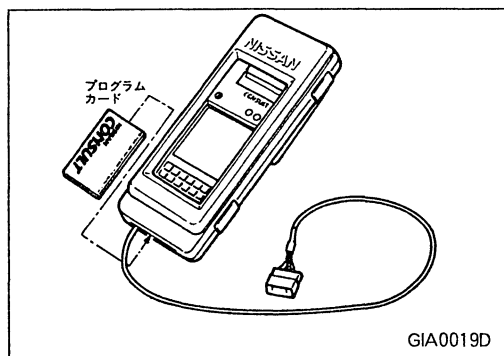
- 関係のある作業例
  - ステアリングギヤの交換
  - ステアリング回り、フロアコンソール付近の修理
  - カーオーディオ等の取り付け

## 車台番号打刻位置及び実施始番号

車台番号打刻位置は従来と同じ、エンジンルームカウルトップ部である。

E-HR33型車	HR33-050001～
E-ER33型車	ER33-030001～
E-ECR33型車	ECR33-050001～
E-ENR33型車	ENR33-005001～
E-BCNR33型車	BCNR34-000001～

## CONSULT



- CONSULTは、ハンドヘルドタイプの小型軽量テスターで、車両側に設けた診断コネクタに接続すると車載のコントロールユニットと通信し、各種診断テストが可能である。
- CONSULTの取扱については、別冊「CONSULT取扱説明書」を参照のこと。
- 本車両では、新しいプログラムカード（JJ930）を用いないと診断できないシステムがあるので、必ず用意すること。  
なお、システムを選択方法等については別冊「CONSULT取扱説明書・共通（改訂版）」を参照のこと。

## 機能

項目	機能
作業サポート	C/Uに命令を送って点検、整備に適した状態を設定する。
ファンクションテスト	ECCSの基本点検として各システムを診断する。
自己診断	C/Uの自己診断を受取り、不具合システム、不具合回数を表示する。
データモニター	C/Uの入出力信号を受取り、表示・記録して不具合原因の発見を容易にする。
アクティブテスト	C/Uに指令を送り、出力信号を任意に変化させて出力系の作動点検を行う。
C/U部品番号	C/Uの部品番号を表示する。

## 適用

	エンジン (ECCS)	A/T	HICAS	ABS	ABS (A-LSD付)	ABS (E-TS付)	ABS (E-TS A-LSD付)	SRS エアバッグ
作業サポート	○	○			○	○	○	
ファンクションテスト	○							
自己診断	○	○	○	○	○	○	○	注○
データモニタ	○	○	○	○	○	○	○	
アクティブテスト	○		○	○	○	○	○	
C/U部品番号	○	○	○	○	○	○	○	

注：両席（運転席及び助手席）SRSエアバックシステム車のみ対応している。